

「部活動地域移行（展開）」に関するQ&A

河合町教育委員会

1. 地域移行の意義・方針について

Q1-1 公立中学校における部活動が持つ意義についてどのように考えているのでしょうか。

A 「学校で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく」という考え方のもと、学校教育から地域の生涯学習の場へと変えていくという方針で進めています。生徒がスポーツや文化活動に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養など、好ましい人間関係を形成し個性の伸長を図る意義があると考えています。

Q1-2 なぜ地域展開（地域移行）が必要なのでしょうか。

A 主な理由は、少子化による生徒数の減少により、単独校でのチーム編成や大会出場が困難になっている現状があるためです。また、教員の長時間勤務の解消といった働き方改革の推進も目的としています。

Q1-3 活動場所・時間について学校教育活動との整合性についてどのように担保するのでしょうか。

A 「各種目別 休日の活動について」の資料を基本に、部活動ごとにそれぞれの場所や時間で整合性がある程度担保できるよう検討しています。

Q1-4 多様な部活動を推進するために、今後どう展開する予定でしょうか。

A 少子化の影響により、河合町の生徒数は今後10年間ほぼ横ばい（約300名程度）と予想されています。かつて両中学校にあった野球部でさえ単独チームが組めない現状があるため、次年度については現状の部活動を維持することにとどめる予定です。

Q1-5 それらの活動の成果を学校教育活動にどのように反映させる予定でしょうか。

A 学校は教育課題との関連を保ちつつ、生徒は地域クラブにより専門的かつ多様な指導を受けることができます。これにより、教員は本来の業務に集中でき、地域全体での「生涯学習」の実現と地域教育力の向上に貢献することを目指します。

2. 体制・スケジュールについて

Q2-1 現在の部活動から地域移行する上でのスケジュールや指導体制についてどうするのでしょうか。

A 奈良県では令和5年度から令和7年度までを「改革集中期間」としており、令和8年度からの休日活動の地域クラブ展開を目指しています。

- **平日**：学校での活動を実施します。
- **休日**：地域クラブでの活動に移行します。
- **大会参加**：移行期の経過措置として、令和8年度の県総体・県新人大会については、現1・2年生に限り教員の指導・引率のもと「学校部活動」として参加する方向で調整しています。

Q2-2 平日の練習のみ参加している生徒は試合に出場できるのでしょうか。

A 試合に出場するためには、年度当初に地域クラブへの登録と保険加入が必要です。指導者間の連携も必要になるため、未登録での大会参加は原則できません。

Q2-3 国は令和8年から13年までを改革実行期間としていますが、なぜ河合町は令和8年4月から断定して進めるのでしょうか。

A 行政としてしっかり方向性を示し、学校と調整しながら進めていくため、令和8年4月からのスタートを目指しています。現状の部活動を存続させるためには、この形での提示が必要であると判断しました。

3. 指導者・安全管理について

Q3-1 活動に必要な資材や指導者の技術・ハラスメントやコンプライアンスについて、どう担保するのでしょうか。

A 奈良県教育委員会が実施する「学校部活動等指導者研修会」にて、地域指導者を対象とした研修を行っています。指導の在り方や発達段階に応じた理解を深めるとともに、ハラスメントやコンプライアンスに関する内容も含まれています。

Q3-2 指導者の確保や人材バンクの登録状況はどうなっているのでしょうか。

A 現在、人材バンクで指導者を募集しており、一部種目では確保できていますが、ソフトテニスや卓球などはまだ見つかっていない状況です。引き続き募集を続け、4月に向け調整します。

Q3-3 連絡場所、連絡時間や顧問について教えてください。

A 今後地域指導者の方と調整を行いますが、連絡場所については河合町教育委員会 生涯学習課（町公民館内）となります。

4. 費用・施設・運営について

Q4-1 会場費や現在町が支出している修繕費などはどうに運営するのでしょうか。

A 限られた予算の中ではありますが、町教育委員会が負担する形で運営します。

Q4-2 休日の活動日、時間、場所、移動手段はどうなるのでしょうか。

A 休日の活動は土日のうち週1回（月4回程度）、1日あたり4時間以内を基本とします。場所は町内の中学校や町の施設を使用します。移動手段は、個人の判断により徒歩や自転車利用、また各家庭の責任において送迎も想定されます。

Q4-3 地域移行になった際、月謝はかかりますか？また土日の部活動に別途費用はかかりますか？

A 生涯学習（社会教育）の一環として、可能な限り低廉な会費での実施を目指しています。参加人数にも左右されますが、受益者負担（会費）として月額の上限3,000円で検討しています。

Q4-4 活動中の怪我に対する保険はどうなるのでしょうか。平日の練習と休日の移動中も対象でしょうか。

A 平日は学校教育の範囲内として従来のスポーツ振興センターの保険が適用されます。休日は地域クラブとして別途保険への加入が必要となります。移動中の事故についても、加入する

保険の範囲内で適用されるよう調整します。

Q4-5 部活動の道具や楽器の管理、校舎のセキュリティはどう確保するのでしょうか。

A 吹奏楽の楽器などは、当面は現在の学校を練習場所として保管・使用する方向で考えています。セキュリティ等の課題については、今後、文科省の動向も注視しながら整備を進めます。

5. 種目別の具体的な質問

【吹奏楽部】

Q5-1 吹奏楽部ですが、休日は指導者が変わるのでしょうか。平日の活動と指導方針が違うと混乱するのではないかと心配です。また、コンクールなどは一中と二中の合同で出場するのでしょうか。一中はマーチングをしていないため、活動がどうなるのか明確な答えを求めます。

A

- **指導体制**：平日と休日で指導者が変わる可能性はあります。学校教員が指導する場合も人事異動があるため、平日・休日の指導者間で相談し、指導方針を決めていくことになります。
- **合同活動**：参加人数次第ではありますが、現在のところ第一中学校と第二中学校は別の活動として継続する方向で考えています。

【バレーボール部】

Q5-2 男子バレーボール部ができるという噂がありますが本当ですか？また、男子もバレーボールができるようになりますか？

A

- **新規設置**：新規で部活動を立ち上げる予定はなく、現存する部活動のみが存続します。
- **男子の活動**：少子化の影響で部活動数を増やすことは難しいため、現状維持を目的としています。したがって、バレーボール部は現状通り女子のみの活動となります。

【野球部】

Q5-3 野球をしたい子どもが喜んでいます。ぜひ実現してほしいです。

A 野球については、地域移行を実施することで部員数を確保し、活動を維持・拡大していくたいと考えています。ただし、応募人数が極端に少なかった場合は、活動を中止する可能性もあります。

【陸上部】

Q5-4 来年度から第二中学校として試合に出られないと聞きましたが、どのような方法があるのでしょうか。また、地域クラブ（母体：走愛RC）の体制についても教えてください。

A

- **出場方法**：地域クラブの母体となる「走愛RC」または他の地域クラブチームからの出場となります。
- **団体**：団体は「走愛RC」に一本化されます。
- **試合数**：基本は県総体、県新人大会への出場を考えていますが、陸上の場合は大会数が多いため、調整しながら対応します。
- **周知**：選手登録の兼合いがあるため、入学説明会や顧問を通じて生徒へ周知を行います。

【剣道部】

Q5-5 河合第二中学校の剣道部は次年度募集停止なのでしょうか。

A お見込み通り第二中学校の剣道部は次年度から募集停止となり、地域の「剣友会」での活動に一本化する形となります。

6. 今後の情報提供・アンケートについて

Q6-1 現時点で不確定なこともあるため、あらためて説明の場やアンケートの実施をお願いしたいです。

A

- **説明資料**：保護者説明会での意見を反映し、不確定な部分も含めて児童生徒向けの資料を作成・周知します。
- **アンケート**：今後の国や県の動向を注視し、必要に応じて実施を検討します。